

9/18 (土) 開催。外資＋官僚パネルディスカッション報告

2011年・2012年合格目標・就職を考えている学生のための

外資系企業経験者＋官僚 パネルディスカッション

～外資系と官僚が明かす！～

「日本の国際競争力を上げる秘策とは」  渋谷校

TAC・W セミナーでは、学生団体 Campus Latte+と協力して、民間と国 I とで悩んでいる方にとって、何らかの選択の指針になるようなイベントを企画、外資企業経験者・官僚の方をお招きし、パネルディスカッションを実施いたしました。

『参加された方々の声』

- ・ 様々な職員の方々の話を伺うことができ、また、詳しく丁寧にお答え頂き良かったです。
- ・ 最前線で活躍されている官僚の方の将来の日本についてのお話がきけて興味深かったです。
- ・ 本当にたくさんの視点から1つのテーマに向けての話を聞けて良かったです。明るい未来は、簡単には来ない、ということを痛感させられましたが、それをどうにかしていきたいという強い刺激を受けることができて、とても良い経験になりました。
- ・ 実際の官僚の方が考えている事に触れることができて良かった。
表にはでないジレンマなどは多くあるのではと思った。
- ・ 国際的なスピード感をお話から体感できました。
- ・ 学校の先生方のコメントがとても印象的にのこった。教育とか興味なかったけどそのとおりだと思った。「日本を強くするには、日本人を強くする必要がある」
- ・ 1つの省庁ではなく、多数の省庁、民間企業のお話を聞いたのでとても良かった。
- ・ 官僚の方とお話する機会がなかったので、とても刺激的でした。
- ・ なかなか会えない人に話しをきけたので大変良かった。
- ・ 自分が考えていたことを聞けたり、自分の考えていることをアウトプットできたので非常に良い経験ができました。
- ・ 他のこういう形の説明会に出席した経験が多くはないので、どう評価すればよいか分からないが、実際に官僚の方と話ができる機会が持てて大変良かったと思う。

- ・ 官僚の方のバックグラウンドとそれぞれの立場から今回のトピックに関する意見がきけたのが良かった。
- ・ いろいろな観点から話が聞けて非常に興味深かった。
- ・ もっとどろどろした話がききたかった。
- ・ 外資の方と官僚の方が国際競争力を高める上でどのようなことをすべきかということに関してディスカッションしていただきたかったです。
- ・ 自分の聞きたかった質問をさせていただけてとても良かったです。
久保田さんの人間関係に対するアドバイスに納得しました。
- ・ 少人数のフランクな雰囲気の中で質問もしやすく、自分の聞きたかった話が聞けて良かったです。
- ・ 自分の将来を考えるいい機会になった。
- ・ 日頃考えていたことを懇談会で聞くことができたので、大変ためになりました。
- ・ こういった企画は、初めて参加したが、非常におもしろかったです。短いプレゼンでしたが頭脳の明晰さが伝わり、あこがれといったようなものを感じました。
- ・ 大学での勉強が始まったばかりで、グローバルな視点で、日本の将来像について考えたことがあまりなかったので、いい経験になったと思います。時間のあるうちに海外に出て見識を深めたいと思いました。
- ・ 座談会での距離感がよかった。
- ・ 各省庁の官僚や民間企業の立場から、日本の競争力をいかに真剣に考えているか伝わってきた。
- ・ それぞれの省と民間の立場から国際競争力の話が聞けて勉強になった。国際競争力の強化といっても色々な切り口からの取り組みがあると思います。
- ・ 私は、中小企業やベンチャーなどの国際競争力について興味があったので今日のお話が聞けてよかったと思います。
- ・ テーマに対して、各パネラーの考え方や伝えたいことが良くまとまっていて、受け手として内容を整理しながら、聞くことができました。
- ・ いろいろな立場の方のお話が一度に聞けて、とても勉強になった。
- ・ 公務員を志望している私にとって、現役の官僚の方々や外資系の方々の考える日本の戦略について聞いた事は非常に参考になりました。各省庁・会社の考えていることだけでなく、自らの意見や経験に基づいた考えなどを聞いたのは、非常に有意義でした。
- ・ 身近にいないような方々である官僚や IT 企業の人から直接日本のビジョンについてお話を聞くことができたので、非常に有意義でした。また、座談会では、すぐ側でリアルな話を直接聞くことが出来て良かったです。
- ・ パネルディスカッションで各省＋民間の比較をしたかったがその点について比較しづらかったのが残念でした。
- ・ 特に少人数の座談会が良かったです。聞きたい事が効果的に聞けました。
- ・ テーマが決まっていて、それに対する各省庁や企業の意見が聞ける＆質問できる場はあまりないと思うので、とても良かった。テーマが決まっていてその意見を聞くことができるというのは自分にとってもすごく考えさせられる良い材料となります。
- ・ さらに様々な分野に携わる人から国際競争力に関する話をきいてみたかった。
- ・ 座談会でたくさん質問できてよかった。
- ・ 現役官僚の日本に対する問題意識が聞けて参考になりました。
- ・ 現場で働いている官僚の方の見解を聞くことで、今日本の行政で何がおこなわれているのかがよくわかりました。

■ パネルディスカッション 風景

- 渋谷校の土曜日の夜に、たくさんの方々に来校していただきました。関西や仙台からお越しいただいた方々もあり、会場では熱気と活気あふれる討論が活発に行われました。自分の考えを示す訓練の場所として、就職を考えている学生にとって有意義な時間であったと思います。



■ パネルディスカッション 風景

- 外資系企業の視点と官僚の視点が重なったことも大変興味深いものでした。真剣に日本の将来を見据えて問題点を共有できたこと、それは、「これからは、官と民が一体となって世界に対して、日本のプレゼンスをアップしていかなければならない。」これからの十年が日本にとって大切な十年だと強く感じた一日でした。



■ パネルディスカッション 風景

- 懇談会を通じて、新たな論点が生まれてきました。TAC・Wセミナーでは、第二弾は、『教育について考える（仮称）』や第三弾 『クラウドコンピューティング(仮称)』など皆さんの関心の高いテーマに関して、パネルディスカッションを実施してゆく予定です。開催情報は、TAC・Wセミナーのホームページでご確認ください。

